

移動等円滑化取組報告書（鉄道駅）

（2023年度）

住 所 千葉県浦安市舞浜2番地18
 事業者名 株式会社舞浜リゾートライン
 代表者名 代表取締役社長 東樹 秀明

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の5の規定に基づき、次のとおり報告します。

I 前年度の移動等円滑化取組計画書の内容の実施状況

(1) 移動等円滑化に関する措置の実施状況

① 鉄道駅を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる鉄道駅	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
—	—	—

② 鉄道駅を使用した役務の提供の方法に関し法第八条第二項及び第三項の主務省令で定める基準を遵守するために必要な措置

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
移動円滑化設備の維持	日常の点検継続。全社的なメンテナンス情報共有の継続。	計画通り実施いたしました。

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
利用者への声掛け	列車運行時間帯における全駅へのキャスト配置とお声掛けの継続実施。	計画通り実施いたしました。
災害時や非常時の避難誘導	災害時や非常時にエレベーターが使用不可の際、歩行困難者を上層階から避難させるための階段避難車を全駅に配備。	計画通り実施いたしました。
言語のバリアフリー	翻訳機の配備拡充。	計画通り実施いたしました。

④ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
誘導案内設備のアップデート	周辺施設等の変化に応じた情報の更新。	計画通り実施いたしました。

⑤ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
災害時や非常時の避難誘導	階段避難車の導入トレーニングの実施。	計画通り実施いたしました。

⑥ 高齢者、障害者等が高齢者障害者等用施設等を円滑に利用するために必要となる適正な配慮についての鉄道駅の利用者に対する広報活動及び啓発活動

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
利用者への声掛け	列車運行時間帯における全駅へのキャスト配置とお声掛けの継続実施。	計画通り実施いたしました。 また、自社周辺施設のバリアフリー情報を記載したガイドブック配布を過年度より継続実施中。

(2) 移動等円滑化の促進を達成するために(1)と併せて講ずべき措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・お客さまからのご意見については社内外関係者間で共有・検討すると共に、従業員からの気づきについても定期的な検討会議の場で対応について検討した。 ・当社沿線周辺にある施設管理者との定期的な会議を通じ、情報連携を図ると共に、周辺環境に適したバリアフリー化の更なる充実または拡充を推進した。

(3) 報告書の公表方法

当社コーポレートサイトにて公表 http://www.mrc.olc.co.jp/utility/barrier_free.html

(4) その他

本計画は、当社経営層による承認及び積極的な関与のもと策定されています。

移動等円滑化取組報告書（鉄道駅）

（2023年度）

住 所 千葉県浦安市舞浜2番地18
事業者名 株式会社舞浜リゾートライン
代表者名 代表取締役社長 東樹 秀明

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の5の規定に基づき、次のとおり報告します。

Ⅲ 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行規則第6条の2で定める要件に関する事項

(1) 過去3年度における1日当たりの平均利用者数が3万人以上の鉄道駅を設置又は管理している。	○
(2) 過去3年度における1日当たりの平均利用者数が3000人以上3万人未満の鉄道駅を設置又は管理していて、かつ、以下のいずれかに該当する。 ①中小企業者でない。 ②大企業者である公共交通事業者等が自社の株式を50%以上所有しているか、又は自社に対し50%以上出資している中小企業者である。	